

MRI造影 検査予約票

ID 番号

お名前

様

予約日時

年

月

日

○検査当日の手順

新患・再診患者 受付まで検査予約時間の30分前にお越しください。

検査予約票(この用紙)、体内の金属等についてご記入いただいたMRIについての説明書、問診票-同意書をご提出ください。

○お願い

検査日の変更ならびにキャンセルは下記まで御連絡ください。

成田富里徳洲会病院 放射線科

TEL 0476-93-1001(代) 放射線科直通 0476-93-1056

予定時間通りに検査を行うように努力しておりますが、緊急検査への対応や個々の検査毎に内容が異なるため、予約時間と実際の検査開始時間がずれることがあります。ご了承ください。

○食事・お薬など

検査 6時間前よりの食事はお控え下さい。

乳製品以外の水、お茶などは飲まれてかまいません。

高血圧などで定期投薬のある方は薬を飲まれてからご来院下さい。

ただし、糖尿病のお薬は飲まないでください。

MRI検査についての説明書

患者様名

様

★ MRI検査とは

- ・大きな磁石による磁場の中で、体内の水素原子の核磁気共鳴現象を測定し、コンピュータ解析により人体内部の構造を画像化する検査です。
- ・検査中は工事現場のような大きな音がしますが、身体に影響はありません。
- ・30分程度検査台の上で、仰向けの姿勢でじっとしている必要があります。

★ 注意事項

- ・危険ですので、検査室内に金属製品や電子機器を持ち込まないでください。
- ・『心臓ペースメーカー』や『体内式除細動器』を装着なさってる方、『内耳人工関節』がある方、1970年(昭和45年)以前に『機械式人工心臓弁』を入れた方は検査ができません。
- ・『血管ステント』挿入後、8週間以内の方は担当医にお申し出ください。
- ・30分程度仰向けの姿勢を保てない方(痛みの強い方、お子様等)や、閉所恐怖症の方は検査ができない場合があります。
- ・以下のものは安全のため検査室内に持ち込まないでください。
金属類、時計、めがね、ライター、ヘアピン、鍵、アクセサリ、金属のついた衣類、磁気カード類、入れ歯、補聴器、使い捨てカイロ、エレキバン
- ・貼り薬、アイライナー、刺青などの影響で、皮膚に障害が起きたという報告もあります。除去できるものは除去されることをお勧めします。

★ 安全の確認のために下記にご記入くださり、検査当日お持ちください。

当てはまる方にレ印を入れてください。“はい”の方を選ばれた方は、適した言葉を○で囲むか、あるいは()の中に具体的な言葉を書いてください。

- 心臓ペースメーカーまたは体内式除細動器を装着なさってますか？
□いいえ □はい:(→ 心臓ペースメーカー、 体内式除細動器)
- 内耳人工関節を装着なさってますか？
□いいえ □はい
- 脳動脈クリップがありますか？
□いいえ □はい:(→手術はいつ頃かお書きください: 年頃)
- 心臓に人工弁がありますか？
□いいえ □はい:(→手術はいつ頃かお書きください: 年頃)
- 人工関節や固定用の金具がありますか？
□いいえ □はい(→部位をお書きください:)
- 金属製の置き針や注射針がありますか？
□いいえ □はい(→部位をお書きください:)
- 義歯、義眼、義肢をお使いですか？
□いいえ □はい(→着脱は: 可能、不可能)
- アトライナーや刺青をなさってますか？
□いいえ □はい
- その他体内に金属ががありますか？
□いいえ □はい(→具体的にお書きください:)
- 閉所恐怖症ですか？
□いいえ □はい
- 現在、妊娠中、または妊娠している可能性がありますか？
□いいえ □はい □わからない

MRI検査における造影剤使用についての説明書

今回実施するMRI検査は、“造影剤”という薬剤を注射して行います。造影剤を用いることにより、あなたの病気の状態をより正確に明らかにし、今後の治療に役立てます。

MRI検査は造影剤を使わなくても行えますが、正確に診断が出来ず病気を見落とす場合があります。造影剤は安全な薬剤ですが、まれに副作用が起こることもあります。副作用にはつぎのようなものがあります。

- ① 軽い副作用：吐き気・嘔吐・かゆみ・発疹などで、基本的には治療は不要です。このような副作用の起こる確率は100人に つき1人以下、つまり1%以下です。
- ② 重い副作用：呼吸困難・血圧低下・けいれん・意識消失などで、通常は治療が必要であり入院や手術が必要なこともあります。このような副作用の起こる確率は1万人に5人以下、つまり0.05%以下です。
- ③ 非常にまれですが、病状・体質によっては約100万人につき1人の割合(0.001%)で死亡する場合があります。
- ④ なお、以前に造影剤を用いる検査を受け、副作用の無かった方でも副作用が起こる可能性があります。

検査をできるだけ安全確実に行うために、別紙の質問(問診票)にお答えください。担当医の判断で造影剤を使用しない場合もあります。

☆造影剤の注入時には

- ① 勢いよく造影剤を注入する場合には、血管外に造影剤がもれることがまれにあります。この場合は、注射した部位が腫れて痛みを伴うこともあります。
- ② 基本的には、時間がたてば吸収されますので心配ありません。もれた量が多い場合は、別の処置が必要となることもあります。非常にまれです。

当院では、万一の副作用に対して万全の体制を整えて検査を行っています。もし変だと感じましたら、ためらわずに主治医もしくは放射線科にお知らせください。

☆検査が終わって

- ① まれに、検査のときは何とも無くても検査後数時間～数日後に注射した腕の痛み、皮膚の発赤・かゆみ、吐き気、嘔吐、動悸などの症状が出る場合があります。何か異常を感じたら、検査を依頼した科または放射線科までご連絡ください。
- ② 造影剤の体内からの排泄を良くするために、水・お茶などの水分を普段より多めにとってください。ただし、水分摂取を制限されている方は、通常どおりにしてください。
- ③ 造影剤は若干母乳中に移行しますので、およそ48時間は授乳を控えてください。

- ※ 検査 6時間前よりの食事は控え下さい。
- ※ 乳製品以外の水、お茶などは飲まれてかまいません。
- ※ 高血圧などで定期投薬のある方は薬を飲まれてからご来院下さい。
- ※ ただし、糖尿病のお薬は飲まないでください。

* 造影検査に関して、ご質問がある場合には
成田富里徳洲会病院 放射線科 まで遠慮なくお尋ね下さい。

